

# シベリアの文化に触れてみる

2018年10月27日(土)  
鶴見大学会館メインホール

事前登録: 不要 参加費: 無料

文化に触れるシリーズの第4弾として、今年はシベリア地方の言語・文化に触れてみます。シベリアは日本から地理的にはそう遠くはなく、その名前や地図上の位置はよく知られているものの、実際にどのような言語や文化がそこで息づいているのかを知る機会はほとんどありません。そこでこの講演会では、シベリアの現地で多くのフィールド調査をされている3名の先生方から、書籍や文献からでは知ることが難しい、現地で生活したからこそ知りえたお話をまじえて、シベリア地方の4つの言語・文化を紹介していただきます。それぞれの言語・文化にみられる多様性を学ぶことができる、横浜のみならず、日本においても、そして世界的にも貴重な機会となります。ぜひご参加ください。

- 12:30 開場
- 13:00 開演
- 13:10 ~ 13:50 「サハとトゥバの言語と文化」  
江畑冬生
- 13:50 ~ 14:30 「ユカギールの言語と文化」  
長崎郁
- 14:30 ~ 14:40 休憩
- 14:40 ~ 15:20 「イテリメンの言語と文化」  
小野智香子
- 15:20 ~ 16:00 質疑応答



JR横浜駅から京浜東北線で10分のJR鶴見駅から徒歩2分

江畑冬生(えばた ふゆぎ)



新潟大学  
准教授  
言語学  
サハ語とトゥバ語の  
文法構造について  
直接現地に赴いて  
調べています。

長崎郁(ながさき いく)



国立国語研究所  
研究員  
言語学  
コリマ・ユカギール語の  
文法研究をしてきました。  
最近ではセリクープ語にも  
関心を持っています。

小野智香子(おの ちかこ)



千葉大学  
研究員  
言語学  
カムチャツカで話される  
イテリメン語の文法につ  
いて研究しています。

いかなきゃ!



つるみん

企画・開催 鶴見大学比較文化研究所